

# 学 校 経 営 方 針

新島村立式根島中学校  
校長 高 松 正 志

## I はじめに

社会の変化とともに様々な教育改革が進められている今日である。学校教育に課せられている課題は、「確かな学力の向上」と「豊かな心を育む教育の充実」である。

これらの課題解決に努め、基礎基本の確実な定着と自立のための能力や態度などを身に付け、自己実現に向けてたくましく生きる生徒の育成を図ることができる学校でありたい。

そのためには教育目標の具現化に努め、家庭・地域と連携しながら活力のある教育活動を教職員一丸となり推進していかなければならないと考える。

## II 教育目標

「基礎基本の身に付いた生徒」

- ・学ぶ姿勢の身に付いた生徒
- ・明るくあいさつのできる生徒
- ・人も自分も大切に作る生徒
- ・心身ともにたくましい生徒

## III 活力ある教育活動を推進するための四つの柱

### 1. 指導の工夫・改善等、授業改善に努める。

生徒からの授業評価アンケート等を参考にしながら、常に授業のあり方について十分に吟味し、生徒の実態に即した「わかる授業」を創造し、授業改善及び学習評価の改善に努める。

### 2. 生徒との信頼関係を大切にする。

一人一人の生徒をよく見つめ、生徒理解を図り、一人一人の生徒との信頼関係を築き、それに基づいた指導を実践する。

### 3. 生徒を励ます指導を重視する。

生徒の活動を多面的にとらえ、あらゆる機会を通じて「認め・励ます」なかで、生徒の満足感・成就感を達成させる。

### 4. 全ての教育活動において、目標と評価を明確にする。

学校行事・生徒会行事やさまざまな校外活動等を通じて、「行事や諸活動の中で生徒をどう育てるか」という視点を持ち、目標と評価を明確にし、生徒の成長・向上を支援する。

## IV めざす学校

### 1. 確かな学力の向上に努める学校

- (1) 各教科における基礎・基本を明確にし、その定着を図る。
- (2) 基礎学習の時間を活用し、基礎・基本の定着を図る。
- (3) 授業を公開し、共に学び合いながら、魅力ある授業を創造する。
- (4) 全国学力状況調査、東京都の学力調査、到達度テストや単元テスト等を参考に個別指導計画を作成し、個に応じた授業を実践する。
- (5) 評価の観点を明確にし、授業改善を図る。

- (6) 学習意欲を喚起するよう教科通信簿の活用を図る。
- (7) 家庭学習の定着が図られるような取り組みを推進する。
- (8) 英語、漢字、数学検定等の各種検定試験に積極的に取り組みさせ、基礎学力の定着を図ると同時に学習に対する自信を持たせる。

## 2. 豊かな心と健やかな体を育む学校

- (1) 人権尊重教育を推進し、人も自分も大切にできる態度を育む。
- (2) 道徳の時間確保と同時に道徳教育の充実に努め、道徳的価値の深化を図る。
- (3) 奉仕活動の推進（砂はこび、浜清掃、ユニセフ募金等）で心豊かな生徒の育成を図る。
- (4) あいさつ、言葉遣い、社会生活のルールやマナー等の基本的な生活習慣の確立をめざす日常的継続的な指導に努める。
- (5) 朝読書を充実させ、読書活動から心の教育を推進する。
- (6) 健康・安全についての指導の徹底と教育相談の充実に努める。
- (7) 自らの体力の増進に進んで取り組む態度を養う。
- (8) 清掃や美化活動の推進に努め、学習環境整備の推進を図る。

## 3. 将来を見つめ、たくましく生きる力をつける学校

- (1) 新島村一貫教育プログラムを活用し、3年間を見通した進路指導とキャリア教育の充実に努め、自己実現をめざす生徒の育成を図る。
- (2) 郷土理解学習の充実に努め、ふるさと式根島に誇りを持ち、たくましく生きる生徒の育成を図る。
- (3) 総合的な学習の時間の充実に努め、各教科等で身に付けた学力を活用し、問題解決能力、情報活用能力等の育成を図る。
- (4) 体験的学習を重視した教育活動でコミュニケーション能力を高め、表現豊かに活動する生徒の育成を図る。

## 4. 家庭・地域社会と連携し、地域から信頼される学校

- (1) 小中、中高の連携活動を充実させ、新島村一貫教育の推進を図る。
- (2) 学校評価を積極的に公開し、保護者や地域から意見を求め、学校運営連絡協議会制度を活かし、よりよい教育活動の推進に努める。
- (3) 教育活動の充実に努めるため、積極的に地域の人材や施設・文化財の活用を推進する。
- (4) 村及び島内における諸活動や行事には積極的に参加する。